



伊東深水「大島十二景之内 三原の砂漠」

(1950年、尺貫、28.5×39.5cm、油、東京国立近代美術館蔵)

藤井達吉「大島風物図屏風」
(左隻/表)

©2022 Shigeo Fukuda. All rights reserved.
東京国立近代美術館蔵、複製権は伊豆新聞社に帰属



伊豆の三原山景砂漠(東京国立近代美術館蔵)

美の粋

旅先で注目 珍代名を求めて

伊豆大島の風景は、昔ながらの自然美が溢れている。その中でも、三原の砂漠は、独特の美しさを誇る。この砂漠は、かつては海に囲まれていたが、地殻変動によって陸地になった。その結果、砂浜が広がり、美しい風景が生まれた。この砂漠は、伊豆大島の代表的な観光地の一つとして知られている。また、この砂漠には、珍しい動植物が生息している。その中でも、珍代名と呼ばれる植物が、この砂漠のシンボルとなっている。この植物は、砂漠の厳しい環境に適応し、独特の姿を誇っている。この砂漠を訪れる際には、この珍代名をぜひ見つけてほしい。

伊豆大島の風景は、昔ながらの自然美が溢れている。その中でも、三原の砂漠は、独特の美しさを誇る。この砂漠は、かつては海に囲まれていたが、地殻変動によって陸地になった。その結果、砂浜が広がり、美しい風景が生まれた。この砂漠は、伊豆大島の代表的な観光地の一つとして知られている。また、この砂漠には、珍しい動植物が生息している。その中でも、珍代名と呼ばれる植物が、この砂漠のシンボルとなっている。この植物は、砂漠の厳しい環境に適応し、独特の姿を誇っている。この砂漠を訪れる際には、この珍代名をぜひ見つけてほしい。

伊豆大島の風景は、昔ながらの自然美が溢れている。その中でも、三原の砂漠は、独特の美しさを誇る。この砂漠は、かつては海に囲まれていたが、地殻変動によって陸地になった。その結果、砂浜が広がり、美しい風景が生まれた。この砂漠は、伊豆大島の代表的な観光地の一つとして知られている。また、この砂漠には、珍しい動植物が生息している。その中でも、珍代名と呼ばれる植物が、この砂漠のシンボルとなっている。この植物は、砂漠の厳しい環境に適応し、独特の姿を誇っている。この砂漠を訪れる際には、この珍代名をぜひ見つけてほしい。

伊豆大島の風景は、昔ながらの自然美が溢れている。その中でも、三原の砂漠は、独特の美しさを誇る。この砂漠は、かつては海に囲まれていたが、地殻変動によって陸地になった。その結果、砂浜が広がり、美しい風景が生まれた。この砂漠は、伊豆大島の代表的な観光地の一つとして知られている。また、この砂漠には、珍しい動植物が生息している。その中でも、珍代名と呼ばれる植物が、この砂漠のシンボルとなっている。この植物は、砂漠の厳しい環境に適応し、独特の姿を誇っている。この砂漠を訪れる際には、この珍代名をぜひ見つけてほしい。

伊豆大島の風景は、昔ながらの自然美が溢れている。その中でも、三原の砂漠は、独特の美しさを誇る。この砂漠は、かつては海に囲まれていたが、地殻変動によって陸地になった。その結果、砂浜が広がり、美しい風景が生まれた。この砂漠は、伊豆大島の代表的な観光地の一つとして知られている。また、この砂漠には、珍しい動植物が生息している。その中でも、珍代名と呼ばれる植物が、この砂漠のシンボルとなっている。この植物は、砂漠の厳しい環境に適応し、独特の姿を誇っている。この砂漠を訪れる際には、この珍代名をぜひ見つけてほしい。